



## 皆で創りあげたもの

立春を過ぎ、暦の上では春となりました。立春の前日のことを節分と言いますが、通常は2月3日です。しかし、今年の節分は2月2日でした。新聞やTVなどで報道されていたので、事前に知っていた人もいたと思いますが、2月2日が節分になるのは1897年（明治30年）以来、124年ぶりのことだそうです。なぜ節分の日がずれたのでしょうか。理科で学習済みの人は分かると思いますが、1年とは地球が太陽の周りを1周する（公転といいます）のにかかる時間を基準にしていて、1年は365日として使われています。しかし、実際は、およそ365.2422日で公転しています。日時に直すと365日と6時間弱かかることとなります。6時間弱のずれを4年に1度のうるう年で調整していますが、完全には調整できません。そのわずかなずれのために、立春の日が1日ずれることがあります。今年は立春が、いつもより1日早い2月3日になったため、節分が1日早くなりました。



立春を過ぎてもまだまだ寒い日もありますが、昼の長さは毎日毎日少しずつ長くなっています。春らしい気候になりつつあることを、生活の中で実感として感じるようになってきました。春らしくなっていくこの季節、3年生は自分自身の進路実現を目指して、緊張の中にも充実した日々を送っています。2月下旬となり、3年生が登校するの残りわずかとなりました。卒業式までには公立高校の後期試験等があり、受験者にとっては気の休まらない時が続きますが、体調管理に万全を期して、これまで北東中学校で培った力を発揮してほしいと思います。また、在校生も現在の学年として登校するのは、残り1ヶ月ほどです。各学年の修了を充実した状態で迎えることができよう、学級・学年で進級に向け様々な取り組みを行っているところです。



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための全国一斉の臨時休業があり、5月24日に入学式、翌25日に始業式を行い、異例の新年度の幕開けとなった令和2年度。新型コロナウイルス感染防止のため、様々な行動等の制限やこれまで経験の無かった取り組みを行う必要が生じたりする中、特に生徒会活動や行事に影響が出ました。そのような困難な状況でしたが、3年生のリーダーシップのもと、いつもとは全く違う形で開催した二葉祭をはじめとする生徒会行事。限られた範囲で最大限の取り組みを行い、十分な達成感を味わうことができるように工夫された、素晴らしい活動を展開しました。全校生徒が一つの場所に集まって活動する場面は少なかったかもしれませんが、3年生を中心に全校生徒の創造力が大いに発揮された1年間だったと思います。学習をはじめ、生徒会活動、学年・学級での取り組みなどの日常活動が、子どもたちをここまで大きく成長させてきたと思います。今年度の各学年・学級の最後の時間まで、温かな雰囲気を保ち、そして感動一杯の別れを迎えられればと願っています。



## 『3年生に贈る会』に向けて

令和2年度の「3年生に贈る会」の開催に向けて、準備が本格的に始まりました。新生徒会役員を中心に、1, 2年生で初めて取り組む大きな行事です。1月19日に「3年生に贈る会」に向けた代議員会が、1, 2年生の代議員によって行われ取り組みがスタートしました。2年生のリーダーシップのもと、1, 2年生が力を合わせて準備が着々と進んでいます。新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら「3年生に贈る会」を実施することを前提に、全ての計画が工夫して立てられていて、約1年間の感染防止対策が学校生活に根付いてきていることを実感として感じるができます。

オープニングからエンディングまで、3年生に心を込めた会を贈るために、工夫をこらした内



容となっています。3年生の生徒会役員も二葉祭等の生徒会行事を実施するにあたり同様でしたが、いつも通りの内容をそのまま実施することは、感染防止対策上困難なので、多くの工夫が必要になります。3年生に1, 2年生からの招待状が届く前に、この紙面上で「3年生に贈る会」の内容について詳しく紹介することはできませんが、1, 2年生が協力してより良い会にしようと頑張っています。こうやって3年生のためと思いつつ努力することで、1, 2年生も多くのことを経験し学んでいきます。そして、令和3年度の北東中学校の生徒会活動を牽引していく力を身に付けていきます。本番は、3月5日。頑張れ2年生、1年生。3年生も心の中で応援しながら、当日を楽しみにしていると思います。

## 新入生保護者説明会開催

2月1日に、令和3年度入学生の「新入生保護者説明会」を本校体育館で開催しました。つい先日、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための全国一斉の臨時休業措置が明け、現1年生の入学式を5月24日に挙行了たばかりのような気がしますが、令和3年度の入学生を迎える準備が本格的に始まりました。本当に時間が過ぎるのは早いものだ実感します。「新入生保護者説明会」開会の前に、入学に向けた物品購入を済ませていただき、午後1時30分より「新入生保護者説明会」を行いました。以下の内容は、校長挨拶の一部抜粋です。

去年は、世界中が新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年間でした。小学校でも授業や行事など、様々な制限をせざるを得なかったことと思いますが、中学校も同様でした。また、ご家庭や小学校でも感染防止対策に、万全を期してきたことと思いますが、引き続き中学校でもよろしくお願ひします。

さて、4月からお子さんは、北東中学校の生徒になります。保護者の皆様には中学校入学にあたり、分からないことや不安なことがあるかもしれません。本日の「新入生保護者説明会」で様々な説明がこのあと各担当からございますが、不明な点はお気軽に問い合わせただき、お子さんの入学に備えていただければと思います。

予定では、4月6日に入学式を行います。中学生になると3年間で体と心が大きく成長します。身長は40cm近く伸びる生徒もいますし、心も大人へと成長していく過程、いわゆる思春期といわれる時期を本格的に迎え、家庭ではこれまでとは違ったお子さんの様子が見られることもあると思います。



中学に入学する頃から家庭や学校で意識したいことは、「目は離さないけれど、手は少しずつ離していく」ということだと思います。または「心の距離はいつも近いけれど、体の距離は少しずつ離していく」。これは、子どもたちを、家庭、学校、地域社会で大人にしていく、という意識をもって自立に導いていくためです。これまで、いつも手の中に、または、手の届くところにいたお子さんが、自分から離れていく感じがして、さみしいと感じることもあるかと思いますが、やがて、

お子さんが自立に向けて、日々たくましくなっていく姿を見守ることが、喜びに変わると思います。そうやって親離れの時期を迎えることが、子どものこれからの人生において、また、保護者の皆さんにとっても、本当に大切な財産となるのではないかと思います。中学校での学習や生徒会活動、行事、部活動などでは、生徒の自立を常に意識した取り組みが行われます。そういった経験を通して、自立に向けた足がかりを作るのが、中学校時代ではないかと私は考えています。

やがて、3年生になると、多くの生徒にとって初めての経験となる、自分自身の進路について考え、決定し、入学試験等を受け、自分がこれから進む道を切り拓いていくことになります。中学校卒業と共に義務教育が修了し、そこから先の進む方向は自分で選択していきます。自分で選択するが故の苦しさや厳しさがあります。それをきちんと乗り越えていける力を、その時まで身に付けることが大切になります。その時のために、学習や諸活動を通して、自立の足がかりを作れるように取り組んでいきます。

中学校生活はわずか3年間ですが、とても密度が高い3年間です。この3年間をどう過ごすか、また、どう過ごさせるかで、その後の進路が変わることもあります。家庭と学校が連絡・連携を密にとりながら、お子さんを大人へと成長させていきたいと思います。そして、困難なことにも立ち向かい、乗り越えていける力とたくましさ子どもたちに身に付けてもらいたいと考えています。ぜひ、3年間よろしくお願ひします。4月にお子様達が元気に入学してくることを、職員、在校生一同、心よりお待ちしております。